

# ▶ 地震による揺れの大きさを知ろう

今回作成した「砺波市地震防災マップ」は、前回公表(平成22年8月)したマップから最新の国の地震に関する知見等を踏まえ見直しを行ったものです。その結果、砺波市では最大で震度6弱~7クラスの地震が発生する可能性があることとなりました。この震度6弱~7クラスという地震が発生した場合、どのような状況になるか、下の図で確認しましょう。

なお、2021年1月に地震調査研究推進本部(国の特別機関で本部長は文部科学大臣)が発表した今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率は、砺波市周辺では最大で約6%とされています。

## ● 砺波市で想定される最大震度: 6弱~7

<p><b>0</b></p> <p><b>【震度0】</b> 人は揺れを感じない。</p>	<p><b>1</b></p> <p><b>【震度1】</b> 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	<p><b>2</b></p> <p><b>【震度2】</b> 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。</p>	<p><b>3</b></p> <p><b>【震度3】</b> 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。</p>
<p><b>4</b></p> <p><b>【震度4】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ほとんどの人が驚く。</li> <li>● 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。</li> <li>● 座りの悪い置物が、倒れることがある。</li> </ul>	<p><b>6弱</b></p> <p><b>【震度6弱】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 立っていることが困難になる。</li> <li>● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。</li> <li>● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。</li> <li>● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。</li> </ul>		
<p><b>5弱</b></p> <p><b>【震度5弱】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。</li> <li>● 棚にある食器類や本が落ちることがある。</li> <li>● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。</li> </ul>	<p><b>6強</b></p> <p><b>【震度6強】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● はわないと動くことができない。飛ばされることもある。</li> <li>● 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。</li> <li>● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。</li> <li>● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。</li> </ul>		
<p><b>5強</b></p> <p><b>【震度5強】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 物につかまらなさと歩くことが難しい。</li> <li>● 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。</li> <li>● 固定していない家具が倒れることがある。</li> <li>● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。</li> </ul>	<p><b>7</b></p> <p><b>【震度7】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。</li> <li>● 耐震性の高い木造建物でも、まともに傾くことがある。</li> <li>● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。</li> </ul>		

「その震度 どんなゆれ? 気象庁HP」より (<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kaikyuhyo/index.html>)

## 地震災害編

# ▶ グラツときたら、まず身を守ろう

### 家の中にいたら...

机やテーブルなど頑丈な家具の下にもぐり身を守りましょう。大きな揺れも長くても1分間程度です。あわてて外に飛び出すのはかえって危険です。

火の始末を忘れずに行いましょう。火は二次災害の原因になります。揺れが小さい場合はただちに、揺れが大きい場合は揺れがおさまってから速やかに火の始末を行ってください。暖房機器のコンセントを抜くことも大切です。

扉を開け、脱出口を確保しましょう。揺れで建物がゆがみ、ドアや窓が開かなくなる場合があります。余震が来る前に、ドアを開けておきましょう。



### 家の外にいたら...

落下物や転倒物がない場所に避難して身を守りましょう。ブロック塀や門柱などのそばは倒壊のおそれがあります。また、建物のそばは看板やガラスの落下の危険性があります。バッグなどで頭を保護するのも有効です。

#### ○ ショッピングセンターやスーパーにいたら

バッグやカゴなどで頭を保護し、商品の落下やショーケースの転倒に注意しましょう。また、あわてて外に出ようとすると将棋倒しに巻き込まれる可能性があります。避難経路などに詳しい店員の指示に従いましょう。

#### ○ エレベーターの中にいたら

自動で停止しないときは全ての階のボタンを押し、停止した階で外へ出ます。閉じ込められた場合は非常ボタンやインターホンで外部と連絡を取ります。

#### ○ 車を運転していたら

急ブレーキは事故のもとです。ゆっくりと道路の左側に車を止めましょう。車を離れる際は、緊急移動の必要性から鍵は付けたままロックしないようにしましょう。(ただし、車検証などの大切なものは持ち出してください。)

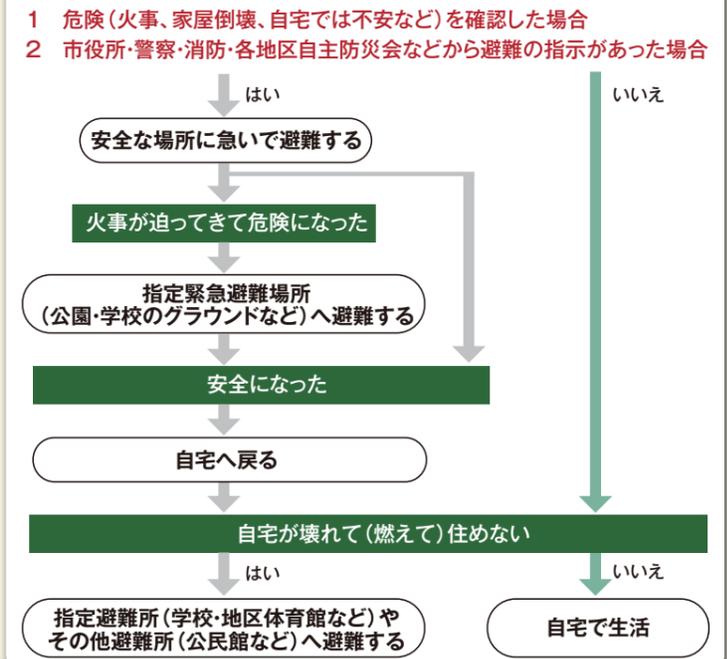


## 避難が必要になったら

大きな地震が発生したとき、冷静に行動するのは難しいものです。いざというとき「あわてず、落ち着いて」行動するために、避難場所とそこへの道順をチェックし、避難時の行動パターンを確認しておきましょう。



## 地震発生



「その震度 どんなゆれ? 気象庁HP」より (<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kaikyuhyo/index.html>)